

コロナ禍で新たに見つめなおす、愛のかたち 感覚はずむ暗闇エンターテイメント「対話のある家」 人気のプログラムが再登場「LOVE IN THE DARK」開催

積水ハウス株式会社とダイアログ・イン・ザ・ダーク・ジャパン（本社：東京都港区、代表：志村真介）は、「住ムフムラボ」（グランフロント大阪）にて、暗闇のエンターテイメント「対話のある家」第34回プログラムを2月11日（木）から4月5日（月）まで開催します。

開催に先立ち、本日2月2日（火）正午よりWEBでの予約受付を開始します。

- テーマは、バレンタインデーの時季にちなみ「LOVE IN THE DARK」。
- 見えないけれど、確かにそこにあるのが「愛」。暗闇の中でそれぞれの思う「愛」について広く考えるプログラム。心を開くことで、愛のかたちが見えてきます。
- 真っ暗闇の中でフィジカル・ディスタンスを保ちながら、コミュニケーションの在り方を再考し、「認め合う」ことを始めてみませんか。



ダイアログ・イン・ザ・ダーク（以下、DID）は、視覚障がい者の案内により、完全に光を遮断した“純度100%の暗闇”の中で、視覚以外の様々な感覚やコミュニケーションを楽しむソーシャル・エンターテイメントです。これまで世界50カ国以上で開催され、日本では23万人以上の人々が体験しています。

お問合せ先 積水ハウス株式会社 コミュニケーションデザイン部
大阪：06-6440-3021 東京：03-5575-1740
大阪市北区大淀中 1-1-88 梅田スカイビル タワーイースト

「LOVE IN THE DARK」 プログラム

今回の「LOVE IN THE DARK」では、「愛」について見つめなおします。見えないけれど、確かにそこにあるのが「愛」。

コロナ禍で生活も大きく変わりました。また、その影響は、家族の関係、恋愛や結婚といった愛のかたちにまで及びました。コロナ禍の今こそ、「愛とは何だろう？」をじっくり考え、コミュニケーションの在り方を再考し、「認め合う」ことを始めてみませんか。

暗闇の中でも参加者が安全にプログラムを楽しんでいただけるよう、1回あたりの体験人数を減らし、2mの身体的・物理的距離（フィジカル・ディスタンス）を確保、プログラム間の空気の入替えなど十分な換気を行い、参加される皆様にはマスク着用、手指消毒、検温チェックにご協力いただくなど、感染防止対策を徹底した上で進行します。

ダイアログ・イン・ザ・ダーク「対話のある家」

第34回「LOVE IN THE DARK」概要

- 開催場所 : グランフロント大阪 北館ナレッジキャピタル 4階（大阪市北区大深町3番1号）
積水ハウス「SUMUFUMULAB（住ムフムラボ）」
- 開催期間 : 2月11日（木）～4月5日（月）
- 開催時間 : 1日3回開催 11:30～12:40、13:30～14:40、15:30～16:40
※土曜日のみ 17:30～18:40 を追加した1日4回開催
※2月15日（月） / 2月28日（日）は施設休館の為プログラム休止
- 所要時間 : 70分程度
- 参加人数 : 各回4名様（先着順・予約制）
- 参加対象 : 小学生以上
- 参加料金 : 大人3,500円 / 学生2,500円 / 小学生1,500円（税込）
- チケット発売 : 2月2日（火）正午～
- 定休日 : 火曜日・水曜日
- 申込方法 : 予約状況確認・申込はWEBから <http://www.sumufumulab.jp/did/>

新型コロナウイルス感染状況の推移等により、開催を延期または中止させていただく場合があります。予めご了承ください。（最新の情報は、[住ムフムラボのホームページ](#)に掲載いたします。）

積水ハウスとD I Dの共創プログラム「対話のある家」について



見て触れて楽しめる

DID「対話のある家」の展示コーナー

積水ハウスは「生涯住宅」の思想のもと、長年にわたり「スマートユニバーサルデザイン」などの研究活動を続けてきました。その一環として、「感じる力」「関係性の回復」「多様性の享受」を目的に、対話する場を提供し続ける DID との共創プログラム「対話のある家」を実施。「純度100%の暗闇」の中で、住まいにおける様々な生活シーンを体験し、日常では得られない気づきやコミュニケーション向上の機会を広く提供します。

さらに、“「わが家」を世界一幸せな場所にする”というビジョンを実現するために、住まいの快適性を深化させる研究にも活かしてまいります。